



# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室 平成29年12月5日  
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標  
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
  - 総合的視点に立つ教育の推進
  - 人間尊重に徹した人権教育の実践
  - 信頼に応える学校園経営
  - 学校園・家庭・地域の協働

## 平成29年度大阪府中学校生徒会サミットが行われました



11月11日(土) 歴史ある大阪府庁本館にて、大阪府中学校生徒会サミットが盛大に開催されました。府内43全市町村の公立中学校生徒会代表各2名に加え、今年度から私立中学校生徒会代表も参加しました。東大阪市からは、8月に開催された東大阪市長生徒会交流会で選出された、小阪中学校の生徒会メンバー2名が市の代表として参加しました。

第1部では、グループに分かれ「各中学校における特色ある生徒会の活動について」をテーマに、生徒会活動の意見交流を行いました。その後、「大阪からいじめをなくすために」をテーマに、具体的に生徒会としてできることや、大阪からいじめをなくすために大切なことについて、グループ協議を行いました。

第2部では、大阪府議会議場に移動し、第1部でまとめた各グループ協議の報告を行いました。その後、参加者全員で意見交流が行われ、参加した小阪中学校の生徒も積極的に発表をしていました。

大阪府全体としていじめをなくすためには、「相談しやすい環境をつくる」、「生徒同士がいじめについて考える」、「本当の友達関係をつくる」という3つにまとめ、大阪府中学校生徒会サミットは閉会しました。

今回の生徒会サミットから学んだことについては、第2回東大阪市長生徒会交流会の中で報告会を行う予定です。

## 第51回 英語まつりが開催されました

第51回英語まつりが、11月10日(金)に東大阪市長男女共同参画センター・イコーラムホールで開催されました。

このイベントは、本市立中・高等学校生徒を対象とし、英語を通じた外国の言語や文化についての理解、多様なものの見方や考え方ができる子どもの育成、国際理解教育の一層の推進を目的としています。

当日は、各学校の代表として参加した生徒による演劇や歌などの舞



台発表が、すべて英語で行われました。各学校が工夫を凝らし、一生懸命準備してきたことがわかる素晴らしい発表ばかりでした。

たくさんの観客の前で緊張する中、英語を使用し自分を表現することは、とても難しいことです。しかし、自分自身をPUSHし、その難しい環境の中で英語を使用することは、急速に言語習得が進むと言われています。参加した生徒のみなさんにとっては、英語を身近に感じ、楽しむことができただけでなく、言語習得の面においても、有意義な機会となりました。

# スタントマン交通安全教室



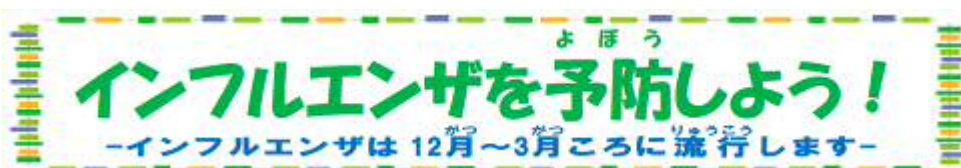
今年も東大阪市道路管理室と連携し、「スケアード・ストレート方式」を用いたスタントマンによる交通安全教室が、孔舎衛中学校(11月8日)、長瀬中学校(11月9日)、盾津中学校(11月10日)の3校で実施されました。



「スケアード・ストレート方式」とは、テレビや映画にも出演しているプロのスタントマンにより、実際に自転車やバイク、乗用車や大型トラックなどで事故の状況を再現し、危険な状況を目の当たりにすることで、事故の恐ろしさを体感し、交通ルールを守る大切さを学ぶ事をねらいとしています。

特に自転車の乗り方では、①携帯電話で話しながら。②傘をさしながらや2人乗り。③2台横に並んで走る。④両手離し運転。⑤音楽を聴きながら。などは非常に危険であることを実技を通して子どもたちへ伝えていただきました。

自転車が関連する交通事故は全事故の約2割を占めています。また、自転車は「車のなかま」なので、原則として車道を走らなければなりません。自転車に乗るときは、ルールを守り、安全運転を心がけましょう。また、車の運転者や歩行者も自転車のルールを知って、お互いを思いやり、交通安全につとめましょう。



インフルエンザは、「インフルエンザウイルス」によって起こる感染症で例年12月から3月頃までが流行期です。インフルエンザは小児や高齢者、免疫力の低下している人がかかると、重症化する恐れがあります。

インフルエンザを予防するために、予防接種やアルコール製剤による手の消毒のほか、体の抵抗力を高めるために、生活リズムを整え、バランスの取れた食事や、十分な睡眠をとりましょう。また、「かからない」、「うつさない」ために普段からうがい、手洗いを心がけ、症状に応じてマスクをするなど、せきエチケットを行いましょう。



	インフルエンザ
主な症状	38度以上の発熱、頭痛、関節痛、全身のだるさ など
感染経路	せきやくしゃみなどをしたときに、そのしぶき(小さな水滴)を吸い込むことで感染します。

## インフルエンザにかからないようにするために

- ・外から帰ったときは、「手洗い」や「うがい」をしましょう。のどや手など身体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、感染予防の基本です。
- ・室内の乾燥に気を付け、適度な湿度を保ちましょう。
- ・日ごろから十分な栄養や睡眠をとりましょう。
- ・流行期間中は、人ごみを避けましょう。
- ・やむを得ず人ごみに入る場合には、不織布(ふしょくふ)製マスクを着用しましょう。



## 市民の声

参考文献：大阪府感染症対策情報サイト

先月、市民の方から「登校途中の児童が道路に散乱しているゴミを拾う姿に感心しました。大人の私が、見て見ぬふりをして通り過ぎた状況を、通学前の彼女は素手で片づけてくれたのです。彼女自身、彼女を育てておられる親御さん、そして指導されている担任及び学校関係者の皆様にお礼申し上げます。」というメールが届きました。児童の行動はもちろん、そのことをわざわざお知らせ頂いた市民の方の行為もたいへんうれしく思いました。